



若小便り



若松小HP用QRコード

令和3年度 若松小学校便り第10号 令和4年1月27日(木) <http://wakamatu.lolita.punk.jp/>

令和3年度重点教育目標 「自尊感情を高め、自ら学び、考え、行動する子どもの育成」

新年によせて / New Year by Pat Metheny 2012

校長 本谷 弘之

あけましておめでとうございます。学校は、とうとう19日に最後の学期がスタートしました。社会情勢は、オミクロン株による新規コロナウイルス感染者数の増加の勢いが年明けから止まりません。そんな中、子どもたちは、2学期終業式での約束どおり、始業式には全員元気な顔を見せてくれたので一安心。この学校便りが地域に回覧されている頃には、もう「冬休み体験発表会」や「学力検査」「丹羽スキー学習(1回目)」を終えていることでしょう。若松小の伝統ともなっている「けん玉クラブ」も発表会に向け、練習が始まりました。子どもたちには、なんとか3月の修了式まで、予定している行事を無事に終え、本校を巣立って欲しいと願っています。

さて、以前他校の学校便りでも触れたことがあるのですが、新年に目標を立てる意義についてTED(世界中の著名人による講演会を開催・配信しているアメリカに本部がある非営利団体)の講演記録より抜粋してご紹介します。

ある心理学者とそのチームの研究によると、新年に目標を立てた人達は、他の時期に目標を立てた人達より、最初の半年で比べた場合に10倍も目標を守り続けている人が多いという結果が出ている。

新年に目標を立てた人達がそれを守り続けていられた大きな理由は、目標を立てる時期的に過去をふり返りやすく、応援してくれる人がそばにいる環境があるからである。自分が「今年はこちら」と宣言し、「それはいいね」とサポートしてくれることが心の支えになるのである。

さらに、目標を達成する人は、小さな目標や、小さな成功を積み重ねている人であり、自分自身を振り返ることのできる人である、という特徴がある。石に躓いた際、「この石が悪い」と思うより、「もっと足下に注意を向ければ良かった」と考える方が次の失敗を防ぐことができる。人間は習慣の生き物といわれる。同じ事を何度も繰り返し身に付けていくということを考えると、小さな成功を数多く積み重ねるには、最初からハードルを高く設定せずに目標を設定することがよい。

本校では、7月の学校評価の結果から課題解決のため、今まで以上に小さな目標を数多く立て、小さな成功、成就感や達成感を積み重ね、中期の目標、長期の目標をクリアできるよう取り組んできました。その結果、「後期学校評価の結果から」のページで示したとおり、「子どもたちができていると感じている」の項目で、子どもたち自身の評価が大きく向上しています。本年度の重点教育目標にある「自尊感情を高め」の達成にまた一歩近づくことができました。

TED講演記録にあるように、3学期のスタートは、新年のスタートと同じ意味もあるでしょう。子どもたちは、新しい目標を各教室で立てています。保護者や地域の皆様方には、今学期もこの目標達成のために、子どもたちを暖かく見守り、ご支援ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

※ アメリカのジャズ・ギタリスト、パット・メネーが2012年に発表したアルバム「UNITY BAND」からのオープニング曲。パットは、13歳で独学でギターを始め、18歳でパーカー音楽大学の講師を務める。これまでソロとして8回、グループとして10回のグラミー賞受賞歴を持つ。32年ぶりにサクソ奏者と共演した本作ももちろんベスト・ジャズ・インストゥルメンタル・アルバム賞を受賞。1978年グループでのデビューアルバム「想い出のサ・ルツォ」を初めて聞いた時の衝撃が忘れられず今も大好きなギタリストの1人。

令和3年度 後期学校評価の結果から

昨年12月末に実施した学校評価アンケートを7月結果と比較して紹介します。7月は、3と4の肯定的評価のパーセンテージを紹介しましたが、今回は、肯定的評価の結果では大きな変化は見られないため、直接評価した数値を用いて集計した表で説明します。

	子ども			保護者			教員		
	7月	12月	変動	7月	12月	変動	7月	12月	変動
1 学校での生活が楽しい、明日も来たい	75%	85%	△	100%	100%	◇	88%	88%	◇
2 できることが増えていると感じている	70%	85%	△	100%	100%	◇	100%	100%	◇
3 思ったことを相手に進んで伝えている	75%	85%	△	80%	70%	▼	88%	88%	◇
4 相手に、返事や意見を進んで返している	70%	85%	△	94%	65%	▼	63%	63%	◇
5 学習のきまりを守っているか	85%	80%	▼	100%	100%	◇	100%	100%	◇
6 「自分で勉強」などを用いているか	60%	80%	△	60%	80%	△	88%	75%	▼
7 プログラミング学習や学習コンテンツ	90%	100%	△	100%	100%	◇	100%	88%	▼
8 家庭学習で学年×10分+10分以上する	75%	80%	△	85%	75%	▼	88%	75%	▼
9 読書を毎日行い、記録している	80%	90%	△	100%	100%	△	100%	88%	▼
10 キャリアパスポートの目標を意識している	90%	85%	▼	90%	95%	△	88%	88%	◇
11 道徳で話し合っって考えを深めている	60%	60%	◇	95%	85%	▼	75%	63%	▼
12 いじめをなくす取組を児童会や授業で	70%	95%	△	100%	100%	◇	88%	100%	△
13 あいさつや場に応じた言葉づかい	75%	70%	▼	85%	70%	▼	75%	63%	▼
14 教育相談で教師は話し聞いてくれる	90%	90%	◇	100%	80%	▼	88%	88%	◇
15 体力を高める活動がよくある	100%	95%	▼	100%	100%	◇	100%	88%	▼
16 体の清潔や感染症予防を学ぶ機会がある	85%	85%	◇	100%	100%	◇	100%	88%	▼
17 自分の身を守る方法を学んだ	100%	100%	◇	100%	100%	◇	100%	88%	▼
18 ゲーム等の使い方のルールを守っている	65%	70%	△	75%	80%	△	88%	88%	◇
19 ふるさと文化、歴史に触れる学習がある	100%	100%	◇	100%	100%	◇	100%	88%	▼
20 地域の人が指導者となる学習活動ある	85%	100%	△	100%	100%	◇	88%	88%	◇
21 学校便りや学級便り、HPで学校の様子	100%	100%	◇	100%	100%	◇	100%	100%	◇

7月の評価結果を紹介した際、「校長としては、子ども達全員が『学校での生活が楽しい、明日も来たい』『できることが増えていると感じる』部分を」伸ばしたいと書きました。この表ではどちらも同じ85%という数値ですが、肯定的評価としてみると、「学校での生活が楽しい」は前回の80%から100%の子どもが評価してくれました。「できることが増えていると感じている」子どもも2学期の学校生活に、より充実感が持てたのでしょう。「いじめをなくす取組」については、これまでの同様の取組に、その目的や意義を伝えることにより、子どもたちには理解してもらえたようです。

子どもや保護者が100%の評価をしてくれた「プログラミング学習や学習コンテンツ」については、学校便りでも幾度か取り上げているとおおり、力を入れてきた部分です。しかし、研修を進めるにつれ、「まだまだ取り組める内容がある」と本校の職員は評価を下げたようです（肯定的評価では100%）。

家庭学習は、取組時間を記入するようになった結果、実際の時間がわかるようになったので、より客観的な評価ができるようになりました。あと一息頑張っしてほしいところです。

さて、2学期の間、子どもたちにも保護者の皆様にも、コミュニケーション力の不足に関する懸念について何度もお話し、新たな取組も増やしてきました。その結果、子どもたちは課題意識を持ち、2学期当初と比べると着実に、2年前と比べると見違えるほど変化してきたと思っています。肯定的な評価を多く記述していただいた保護者の皆様の記述欄にも、共通する課題としてあげられていましたので、残り少ない3学期は、重点をコミュニケーション力の育成に絞った取組を継続していきます。保護者の皆様だけでなく、地域の皆様にも積極的な子どもたちへお声かけをお願いいたします。

今年もこれまでたくさん受賞しました

冬休み中の1月11日（火）、瀬棚海上保安署で子どもたちの作品の表彰式が行われ、本校からは3名の子どもたちが次の賞を受賞し、表彰状や副賞をいただきました



○「未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール」

瀬棚海上保安署長賞 小学校低学年の部 3年 O.T.

小学校高学年の部 5年 Y.R.

海上保安協会北海道地方本部瀬棚支部長賞

小学校低学年の部 2年 I.M.

今年度は、この他にもこれまで以下のような賞を受賞している子どもたちです。

○令和3年度「税を考える週間」書道展（せたな町租税教育推進協議会）

優秀賞 6年 I.K.

佳作 2年 I.M.、5年 Y.R.、6年 U.Y.



○第51回檜山管内児童・生徒美術展

優秀賞（せたな町教育委員会教育長賞）

2年 I.M.「ちょうちょがあつまるひまわり」

○「北海道学び推進月間」標語部門

檜山教育局奨励賞 5年 Y.R.

○令和3年度JA共済全道小・中学生交通安全ポスターコンクール

銅賞 3年 O.T.



この他にも、学校として以下の感謝状をいただいております。

○八雲税務署から八雲税務署管内の租税教育推進に熱心に取り組んだ成果として

○せたな警察署から交通安全啓発活動に熱心に取り組んだ成果として

若松寺子屋オンライン授業

今回は授業を試してみました

1月18日（火）は、3学期始業式の前日、いつもの長期休業時のおり、学期が終わった翌日と、新しい学期が始まる前日は、若松寺子屋という補充学習等の日としています。昨年度GIGAスクール構想による1人1台端末の整備が本校でも行われ、冬休みから端末を自宅に持ち帰り、オンラインで顔を合わせる日を設け、クイズで楽しんだりみんなで絵を完成させたりといったお楽しみ会的な時間を作っていました。当初は、うまく繋がらない家庭は、学校に登校してそれぞれが校内の別の場所に散らばっていましたが、今回は全家庭が無事に繋がり、学校と家庭とで、今後のもしものに備え、オンライン学習を行ってみました。

「オンラインでの複式の授業はどうしたらいい」と冬休み前は悩んでいた先生方でしたが、各学級工夫を凝らして無事に授業を行うことができたようです。



今月は、9月号に続いての、青木先生の登場です。青木先生は、毎回絵本のお話を書いてくれています。実は音楽や運動も好きでどれも中途半端に終わらせないとところがすごい先生です。

思い出の一冊③

2・3年担任 青木 志 暢

絵本は読み捨てられる本ではなく、語り継がれていく本、何回も手にしたくなる本だということを実感したのは、子育てが一番忙しかった時代でした。我が家の子どもたちは学年は二つ離れてはいるものの、年子のように年齢が近かったので、今思うといっぺんに子育てが終わったような気がします。1歳から保育所に預けていたので、とにかく夜は早く寝かせないと次の日が大変です。そこで、寝かしつけの読み聞かせで、子どもたちが「読んで」と持って来るのが決まってこの本でした。

「三びきのやぎのがらがらどん」 マーシャ・フラウン作・絵 せた ていじ訳

むかし、三匹のヤギがいて名前はどれも「がらがらどん」とあるとき、山の草場でたくさん草を食べようと山に登ろうとしたら、途中、橋の下に「トロル」という気味の悪い化け物がいて、なかなかその橋を渡ることができない……。一番小さいヤギから渡ろうとするが、トロルが脅かすので、二番目のヤギに託す。二番目のヤギも渡れず一番大きい三番目のヤギに託す。するとその大きい三番目のヤギがトロルに立ち向かい、立派な角でトロルをこっぴみじんにするのです。その勇敢なヤギのお陰で、無事に3匹のヤギは山へ行き、美味しい草をたくさん食べてきた。という話です。北欧民話のこの絵本は、わかりやすい内容なのと、トロルの気味の悪さ＝恐いけど何回も見たくなるスリル感、そしてそのトロルをやっつけるヤギのカッコ良さに子どもたちは惹かれ、何回でも「読んで」と繰り返すのだと思います。



何回も手にしたくなる絵本は、大人になった今も読みたくなる本です。懐かしくて読んだり、教材のために使ったり、知人にプレゼントしたり、私にとって身近な物です。

橋の下に潜む「トロル」は、絵本の中ではこう言われています。
「ぐりぐりめだまは さらのよう
つきでたはなは ひかきぼうのよう」

*日本の話ならこのモデルは天狗かな？と思うのですが北欧では人ならざる存在を「トロール」と言い、つまり化け物。橋のたもとに暮らしていて、その橋を渡ろうとする人からお金を巻き上げる逸話があるそうです。

2月の行事予定 (※今後の情勢により変更になることもあります)

日	曜	行事予定	バス	日	曜	行事予定	バス
1	火	全校集会(業間)、北中入学説明会	14:40	15	火		14:40
2	水	けん玉クラブ③(業間)、耳鼻科検診	14:40	16	水	けん玉クラブ⑥(業間)、スペ水	14:40
3	木	豆まき集会(業間)	14:40	17	木		14:40
4	金	漢字検定(北小、14:30)	14:40	18	金	けん玉クラブ発表会(6教時)	14:40
5	土			19	土		
6	日			20	日		
7	月	けん玉クラブ④(業間)	14:40	21	月	2・3年生発表集会(業間)	14:40
8	火	児・委反省(業間)、丹羽スキー学習②	14:40	22	火		14:40
9	水	けん玉クラブ⑤(業間)	14:40	23	水	天皇誕生日	
10	木	児童会集会(業間)	14:40	24	木		14:40
11	金	建国記念の日		25	金	参観日、PTA全体会議	13:50
12	土			26	土		
13	日			27	日		
14	月	ピリカスキー学習	14:40	28	月		14:40